

## 中津市歴史博物館 愛称決定！

公募していました中津市歴史博物館の愛称が、「最もわかりやすく親しまれる愛称」として、以下の通り決定しました。

**愛称：なかはく**  
**最優秀賞：高本瑞穂さん**（中津北高等学校）

◎応募総数930件

◎最優秀賞・・・図書カード3万円分とオープニングイベント招待

◎最優秀賞の高本さんには、9月2日17時00分、市役所4階応接室にて市長より表彰を行ないます。

## 中津市歴史博物館 ロゴマーク決定！

「中津市歴史博物館魅力アップ事業者」公募で決定した事業者「中津歴史観光共同事業体」による製作。

### デザインコンセプト

なか はく はく

中津の博が箔になる



#### 【提案書より】

中津市歴史博物館は中津市の文化財の保存や活用を行なう文化施設であると同時に、中津市街地の観光拠点の役割も有しています。中津市歴史博物館が魅力的な施設として輝くことで中津市全体の観光もいっそう輝く（箔がつく）ことが出来ると思います。

#### ロゴマークの形の意味

○中津の「中」という文字を抽象化した形であり、中心線はこれからの中津を切り開く道を表しています。

○また、中津市の過去（歴史）から未来（観光発展）までの時間の巡りを無限∞の形で表現し、その中心にある直線が中津市歴史博物館を表しています。

○そして、中津市歴史博物館で中津の歴史や文化を知った人たちが、市内全体を回遊してほしいという願いが無限∞の形に、中心の直線がその拠点となる中津市歴史博物館を表しており、全体はひとつのピンの形となっています。

### 「中津市歴史博物館魅力アップ事業者」とは

博物館の魅力をより一層高めることを目的として、博物館のカフェにふさわしい飲食サービスの提供と、あわせて来館者ニーズに合ったミュージアムグッズやサービスの提供ができる豊富な経験と能力を有する事業者。

公募により「中津歴史観光共同事業体」を選定しました。

\* ロゴデザインの著作権は市が所有し、自由に使用することができます。

—市制施行90周年記念—

## 中津市歴史博物館 令和元年11月1日開館！

令和元年11月1日（金）12時、中津城内堀沿いの三ノ丁に新しく中津市歴史博物館が開館します。



- 【11月1日のスケジュール】（予定）
- 10：00 オープニング式典  
主催者挨拶・来賓祝辞・来賓紹介・  
施設概要説明  
子どもガイド活動報告  
テープカットセレモニー  
内覧会
  - 12：00 開館～展示室一般オープン

黒田官兵衛が築いた九州最古の近世城郭の石垣が印象的な博物館です。石垣側は総ガラス張り。絵画のように石垣を鑑賞できます。館の中央には、常設展示室と様々な企画を行なう企画展示室を備え、中津の歴史と文化を伝えます。展示室の周囲は無料ゾーン。くつろげる空間にグッズショップとカフェを備え、シアターも設置しました。子どもから大人まで、楽しく体験学習できるプレイスタジオでは市民サポーターが活躍します。また、一般収蔵庫から特別収蔵庫まで完備し、文化財を適切に保存し未来へ伝えます。

**博物館の施設・展示の内容については、後日詳細をご案内します。**  
**10月末にはメディア向け内覧会を予定しています。**



展示室



石垣シアター



プレイスタジオ



カフェコーナー

【問合せ先】  
教育委員会 社会教育課 文化財室 高崎  
TEL：0979-23-8615